

佐 農 技 第 421 号
平成30年(2018年)7月12日

各関係機関長 様

佐賀県農業技術防除センター所長

平成 30 年産水稻におけるトビイロウンカ及び コブノメイガの発生予測について

トビイロウンカ及びコブノメイガについて、予察灯での捕獲状況等から発生予測図(図1、2)を作成しましたので、本田で防除する際の参考としてください。

なお、本発生予測図については、今後の発生状況により変更する場合がありますのでご留意ください。

記

1. トビイロウンカ

1) 飛来状況

- (1) 嬉野市に設置した予察灯では、6月29日と7月8日にそれぞれ1頭、2頭が捕獲された(表1)。
- (2) 7月9日に行った嬉野市の早植え水稻での調査(200株)では、成虫1頭の寄生を認めた。なお、幼虫の寄生は認めなかった。

以上のことから、本県では、6月28日～29日及び7月7日～8日に飛来があり、イネの生育が進んだ7月7日～8日に飛来した個体群が定着しやすく、今後の被害につながりやすいと考えられる。

2) 今後の発生

- (1) セジロウンカの飛来程度は、平年に比べるとやや少ない(表1)。
- (2) 福岡管区气象台が7月5日に発表した九州北部地方の向こう1ヶ月の予報では、気温が平年より高いと予想されている。

以上のとおり、本年は本虫の発生に好適な条件であることから、多発生が予想される。

3) 防除対策

- (1) **防除適期は、幼虫ふ化揃い期**である(図1)。7月7日～8日に飛来した個体群の**第1世代虫の防除適期は7月22日～27日**である。
- (2) 例年、被害がみられる圃場や地域では、第1世代虫を対象とした薬剤防除を行う。
- (3) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認する。
- (4) 本種の生態や防除対策の詳細については、「病虫害防除のてびき」や「トビイロウンカの生態と防除に関するQ&A」^{注)}を参照する。

注) 農業技術防除センターのホームページ

(http://www.pref.saga.lg.jp/ki_ji00322034/index.html) に掲載中。

2. コブノメイガ

1) 飛来状況

- (1) 佐賀市に設置したフェロモントラップ及び県内4地区に設置したライトトラップでは、これまで捕獲されていない(表1)。
- (2) 7月4～5日の早期、早植え、普通期水稻での調査(72圃場)では、寄生を認めなかった(平年：早期水稻0.3%、早植え水稻0%、普通期水稻0.0%)。
- (3) 隣県の長崎県では、フェロモントラップにおいて6月5半旬と7月上旬に発生が確認されている(表1)。

以上のことから、本県のトラップでは確認していないものの、長崎県では確認されていることを考慮し、本県においても6月22日頃と7月6日頃に飛来があったと考えられる。

2) 防除対策

- (1) **防除適期は、発蛾最盛期の7日後(幼虫ふ化揃い期)**である(図2)。
- (2) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず圃場ごとの発生状況を確認する。

表1 ウンカ類及びコブノメイガの飛来状況(平成30年度)

月	日	トビイロウンカ			セジロウンカ			コブノメイガ							
		佐賀県			佐賀県			佐賀県						長崎県	
		佐賀市	佐賀市	嬉野市	佐賀市	佐賀市	嬉野市	佐賀市	佐賀市	神埼市	伊万里市	白石町	武雄市	諫早市	諫早市
		ネットトラップ	ライトトラップ	ライトトラップ	ネットトラップ	ライトトラップ	ライトトラップ	フェロモントラップA	フェロモントラップB	粘着トラップ(20W蛍光灯)	粘着トラップ(20W蛍光灯)	粘着トラップ(20W蛍光灯)	粘着トラップ(20W蛍光灯)	フェロモントラップA	フェロモントラップB
6月	19日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
	20日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	2	0
	21日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
	22日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	12	0
	23日	0	0	0	1	0	0	0	—	0	0	0	0	2	0
	24日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
	25日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
	26日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
	27日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
	28日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
	29日	0	0	1	0	1	1	0	—	0	0	0	欠測	0	0
	30日	0	0	0	0	1	0	0	—	0	0	0	欠測	1	0
7月	1日	0	0	0	0	0	0	0	—	0	0	0	0	0	0
	2日	—	0	0	—	0	0	—	—	0	欠測	0	欠測	0	0
	3日	—	0	0	—	0	0	—	—	0	欠測	0	欠測	0	1
	4日	0	—	0	0	—	1	0	0	0	0	0	0	2	0
	5日	0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	1	0
	6日	0	—	0	0	—	0	0	0	0	0	0	0	11	1
	7日	0	—	0	0	—	2	0	0	0	0	0	0	4	1
	8日	0	—	2	0	—	0	0	0	0	0	0	0	4	1
	9日													4	4
	10日													4	4

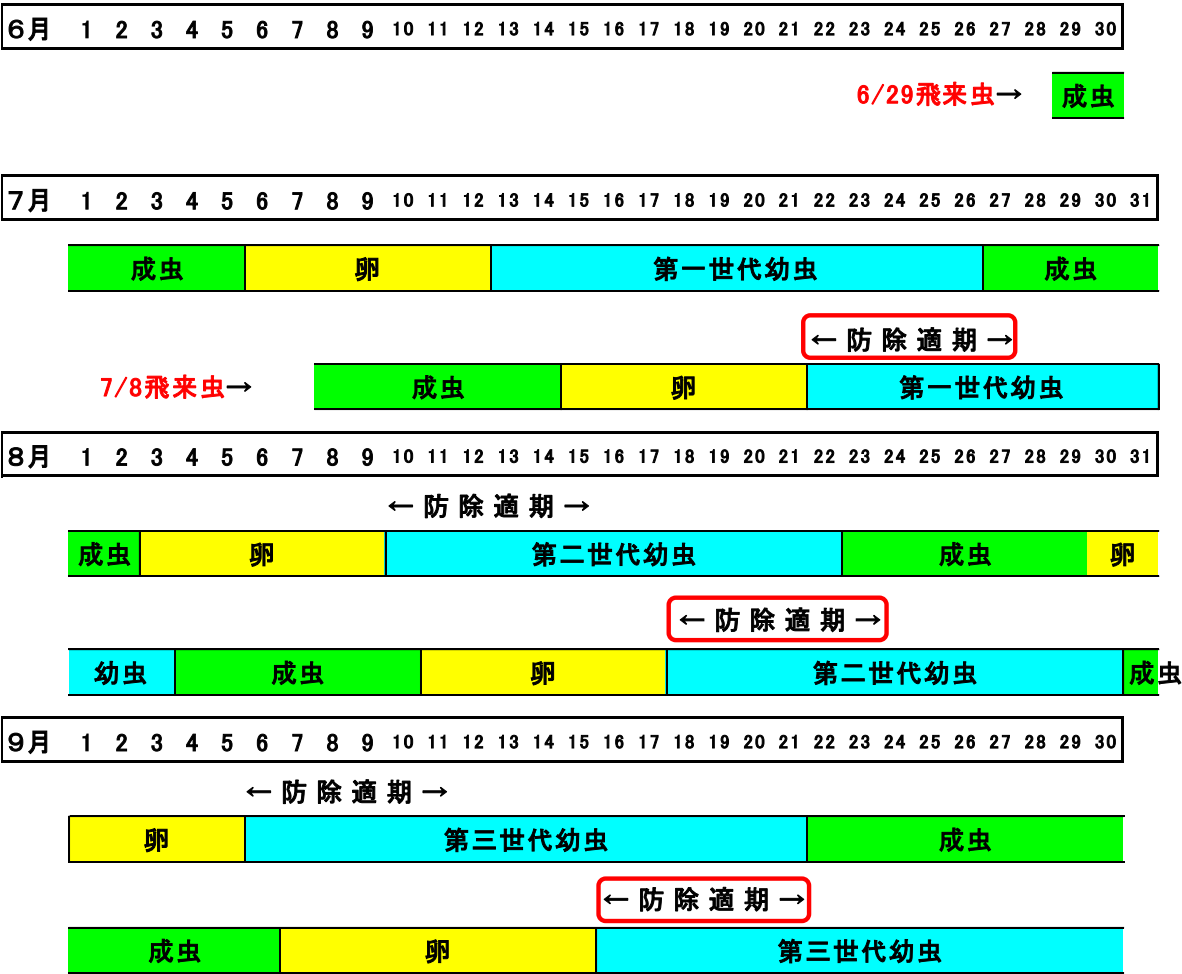
注1)コブノメイガ：神埼市、白石町、伊万里市、武雄市は防除員が調査。佐賀市のフェロモントラップは農業試験研究センターで調査。長崎県のデータは、長崎県病害虫防除所提供。

ライトトラップのデータは、前日18時から当日6時に捕獲された頭数を示す。

今後、新たな飛来波が加わる可能性もある。最新の飛来状況については、農業技術防除センターのホームページ(<http://www.pref.saga.lg.jp/kiji00321899/index.html>)における「海外飛来性害虫情報」を参照のこと。

図1 トビイロウンカの発生予測

(平成30年7月12日、佐賀県農業技術防除センター作成)



(注)

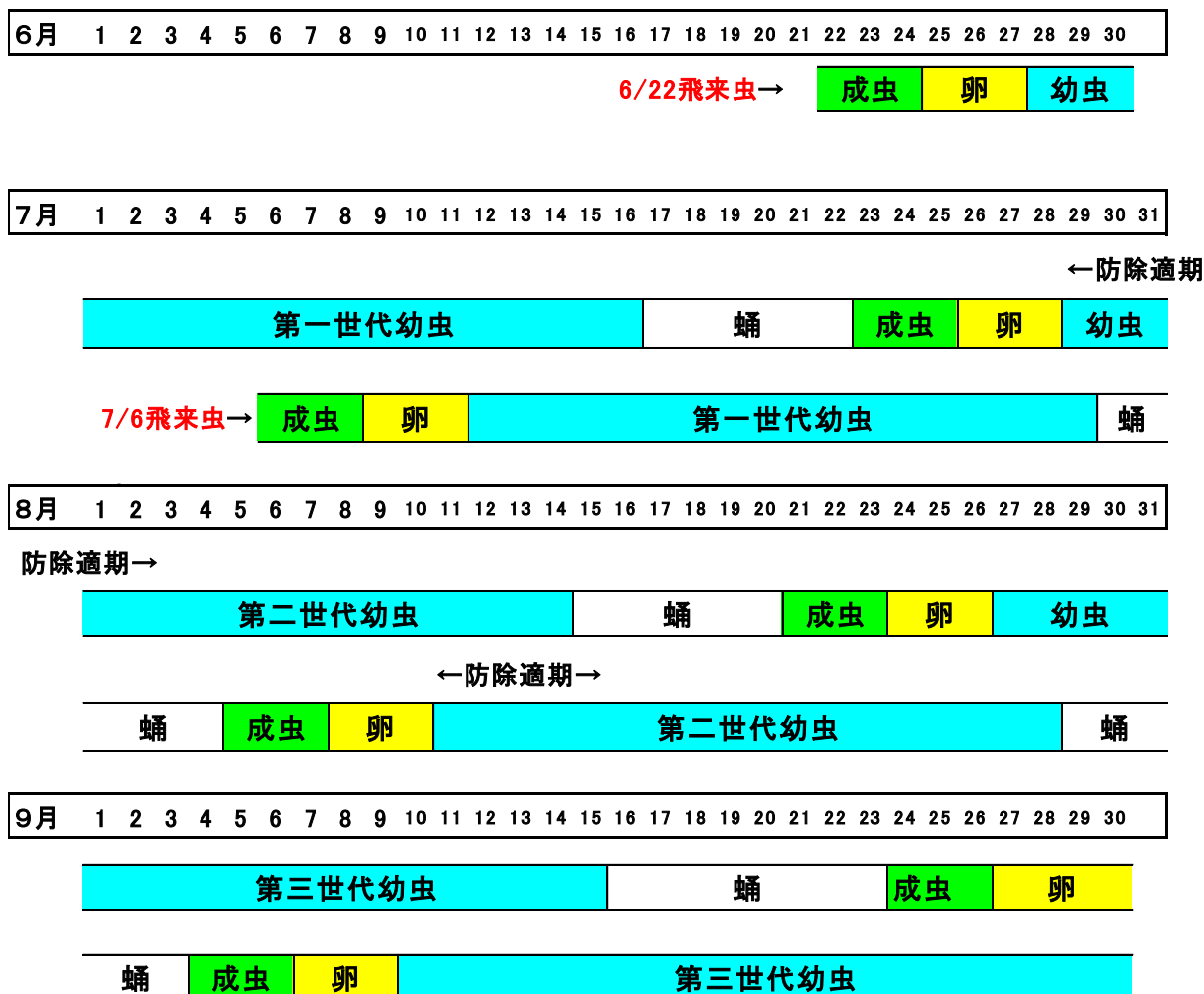
- 6月28日及び7月8日の飛来虫を起点として、有効積算温度と佐賀市川副町(農業試験研究センター内)の日最高気温及び日最低気温(7月11日までは今年のデータ、7月12日以降は平年値)を基に、その後の発生を予測した。
- 防除適期は、幼虫ふ化揃い期である。**
- 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認して防除を実施する。

参考: ウンカ類幼虫の見分け方について

	若齢幼虫の体色	中～老齢幼虫の体色	水面での後脚の出し方
セジロウンカ	白っぽい	灰白の斑紋	 : 真横
トビイロウンカ	白っぽい	薄茶か茶褐	 : 真横～やや斜め後ろ
ヒメトビウンカ	黄褐色	淡黄色か薄茶か茶褐 (体側の色が濃い場合あり)	 : 斜め後ろ

図2 コブノメイガの発生予測

(平成30年7月12日作成、佐賀県農業技術防除センター作成)



(注)

- (1) 6月22日及び7月6日の飛来虫を起点として、有効積算温度と佐賀市川副町(農業試験研究センター内)の日最高気温及び日最低気温(7月11日までは今年のデータ、7月12日以降は平年値)を基に、その後の発生を予測した。
- (2) **防除適期は、発蛾最盛期の7日後(幼虫ふ化揃い期)である。**
- (3) 飛来量及び本田での増殖量は地域及び圃場ごとに異なるので、必ず各地域及び圃場ごとの発生状況を確認して防除を実施する。
- (4) 今後、新たな飛来波が加わる可能性もある。最新の飛来状況については、佐賀県農業技術防除センターのホームページ(<http://www.pref.saga.lg.jp/boujo.html>)における「海外飛来性害虫情報」を参照する。

連絡先：佐賀県農業技術防除センター 病害虫防除部
 〒840-2205 佐賀市川副町南里1088
 TEL (0952) 45-8153 FAX (0952) 45-5085